



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年5月29日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2024年4月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月と同水準、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報 (2024年4月分)

◎2024年4月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

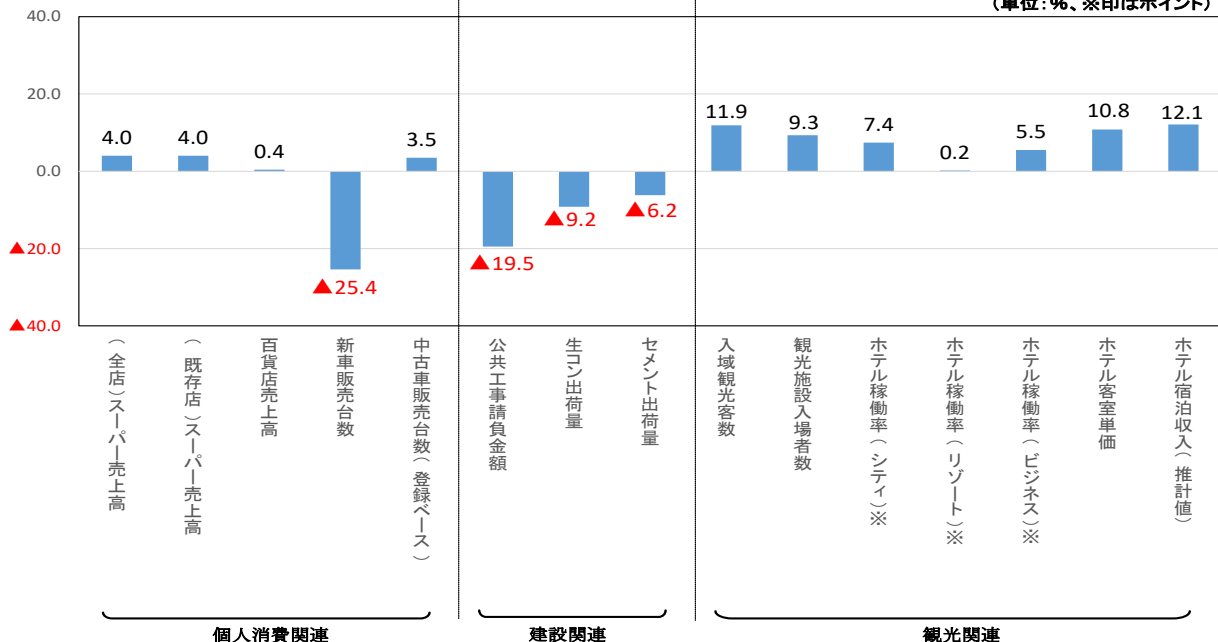
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設関連は、このところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から7か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位: %、※印はポイント)



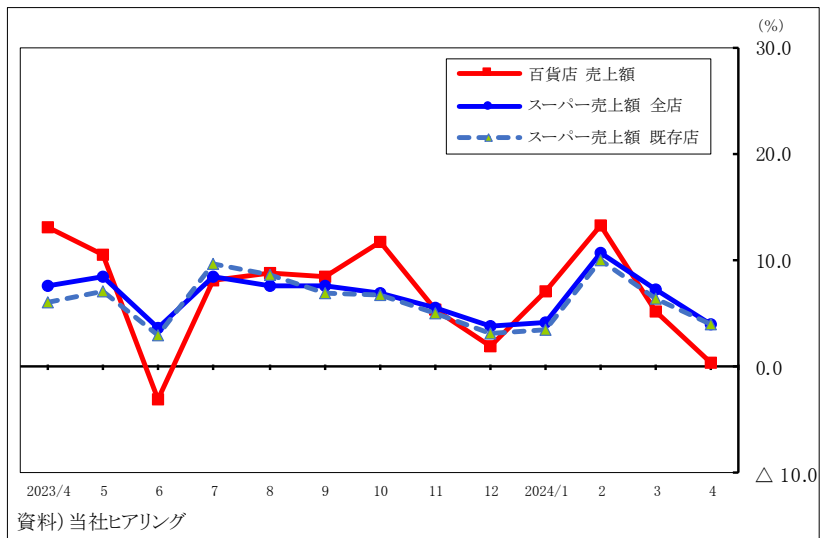


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/4	7.6	6.1	13.2
5	8.4	7.1	10.6
6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4



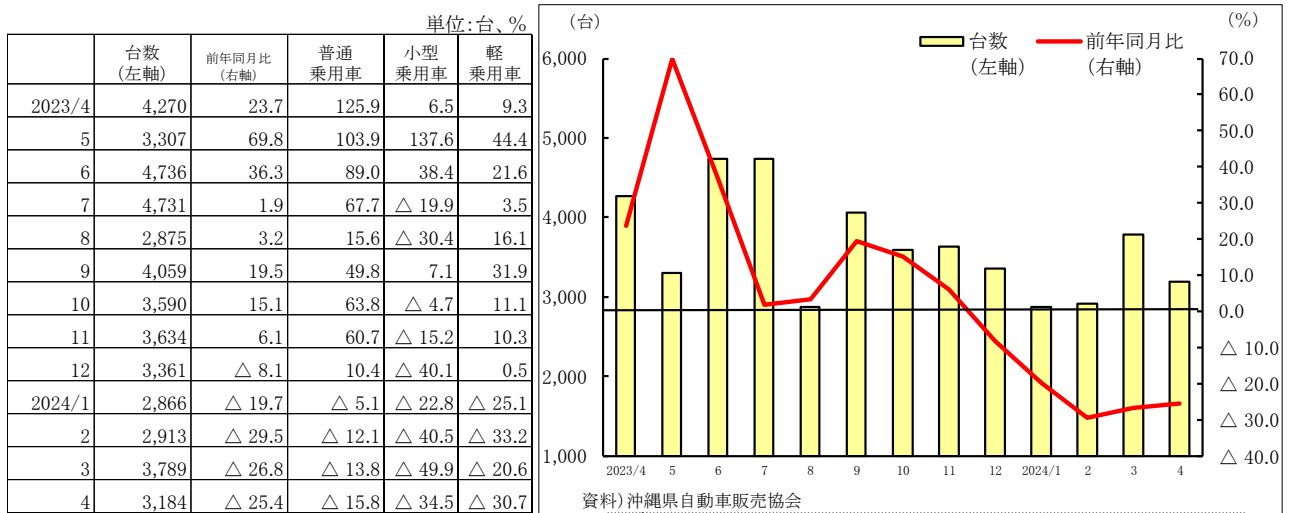
注) 前年同月比

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 4.0%増)」は、23 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.1%増)」は、来店客数の増加や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 10.1%増)」は、新生活向け商品の販売好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 4.4%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 4.0%増)」は、23 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.2%増)」は、来店客数の増加や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「家庭用品(同 8.9%増)」は、新生活向け商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 4.8%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、10 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 0.4%増)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 7.7%増)」は、催事企画や免税売り上げの好調等により前年同月を上回りました。「食堂喫茶(同 6.0%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 5.9%増)」は、免税売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 4.8%減)」、「身廻品(同 5.8%減)」、「家庭用品(同 6.1%減)」は、前年同月を下回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

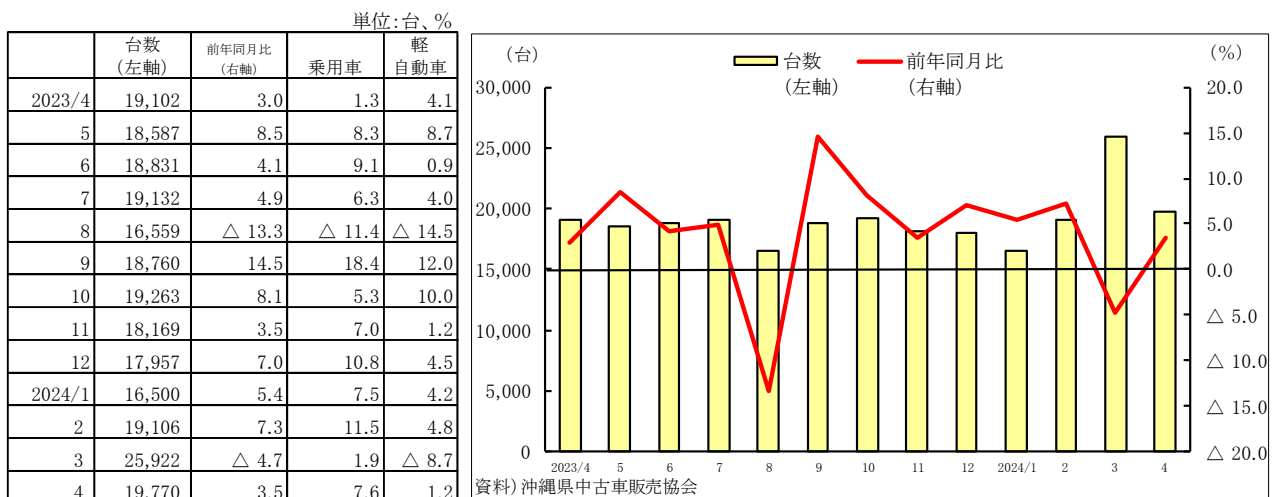


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,184台(同25.4%減)となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同15.8%減)」、「小型乗用車(同34.5%減)」は一部メーカーの出荷停止や遅れ、レンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車(同30.7%減)」は、一部メーカーの出荷停止やレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

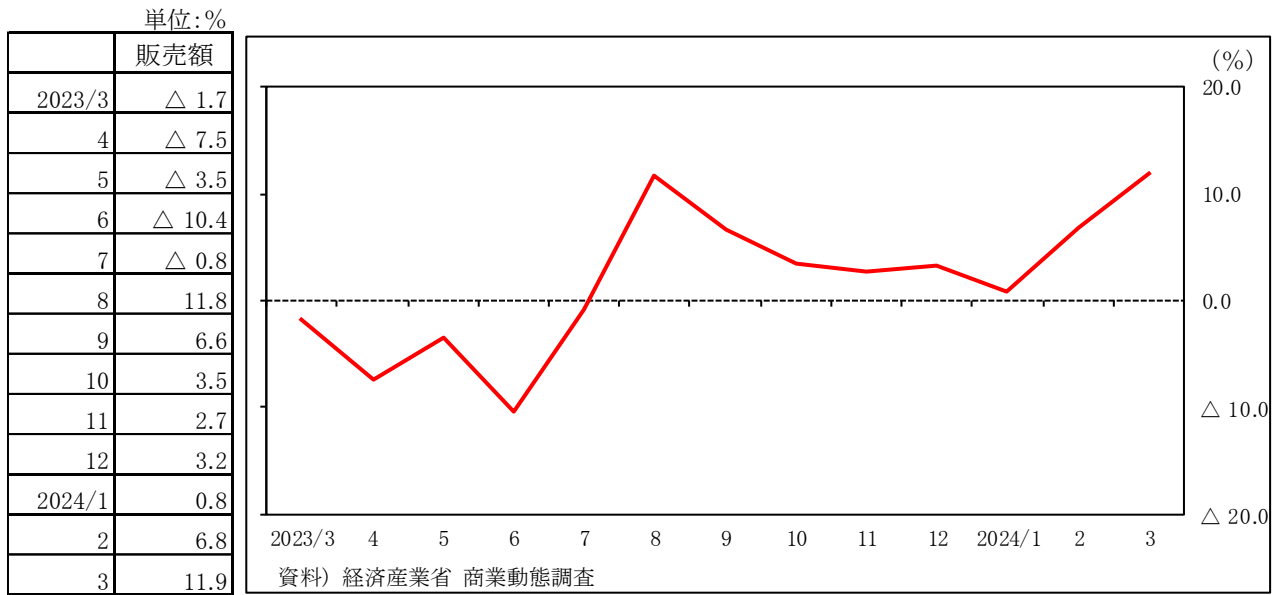


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で19,770台(同3.5%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同7.6%増)」、「軽自動車(同1.2%増)」は、ともに前年同月を上回りました。

④ 【参考：3月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

3月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

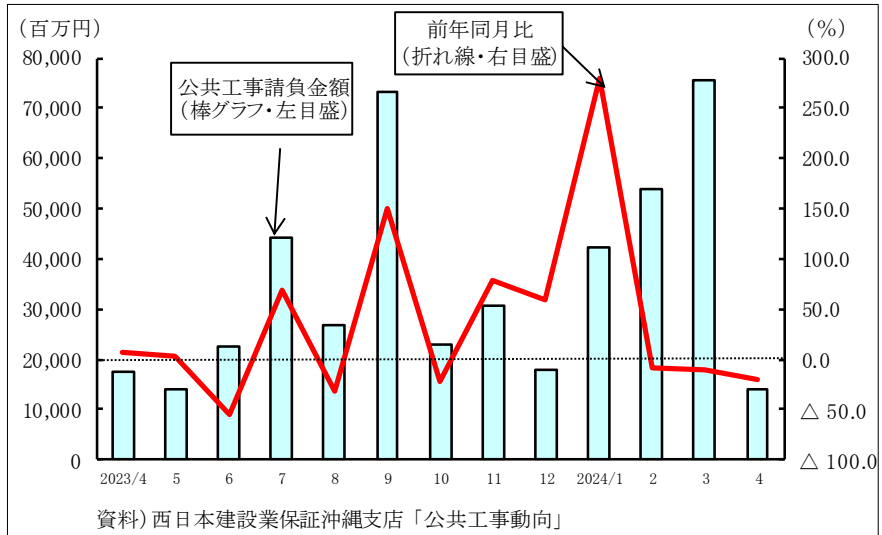


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位: 百万円、%

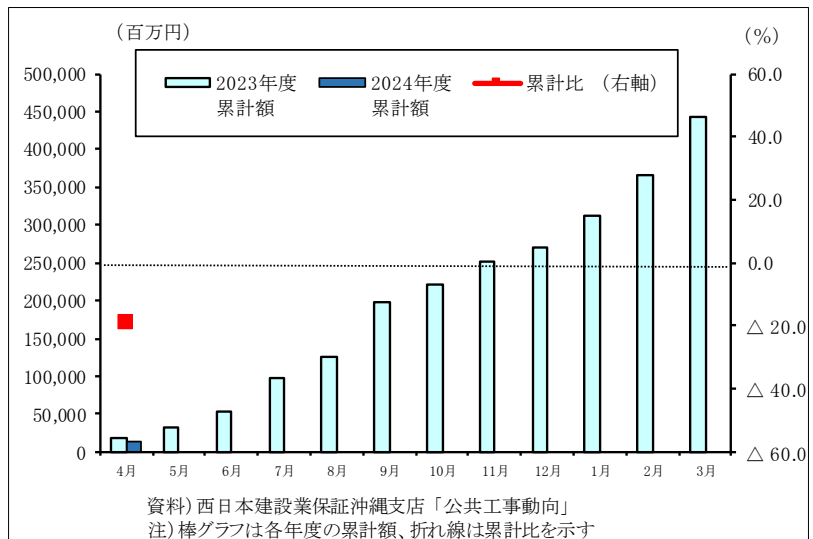
	請負金額	前年同月比
2023/4	17,663	6.4
5	14,118	2.8
6	22,582	△55.0
7	44,353	68.0
8	26,976	△32.3
9	73,429	150.2
10	22,851	△23.0
11	30,627	78.9
12	17,812	58.8
2024/1	42,164	279.4
2	53,986	△9.1
3	75,459	△11.1
4	14,227	△19.5



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。

単位: 百万円、%

	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	17,663	14,227	△19.5
5月	31,781		
6月	54,363		
7月	98,716		
8月	125,692		
9月	199,121		
10月	221,972		
11月	252,599		
12月	270,411		
1月	312,575		
2月	366,561		
3月	442,020		

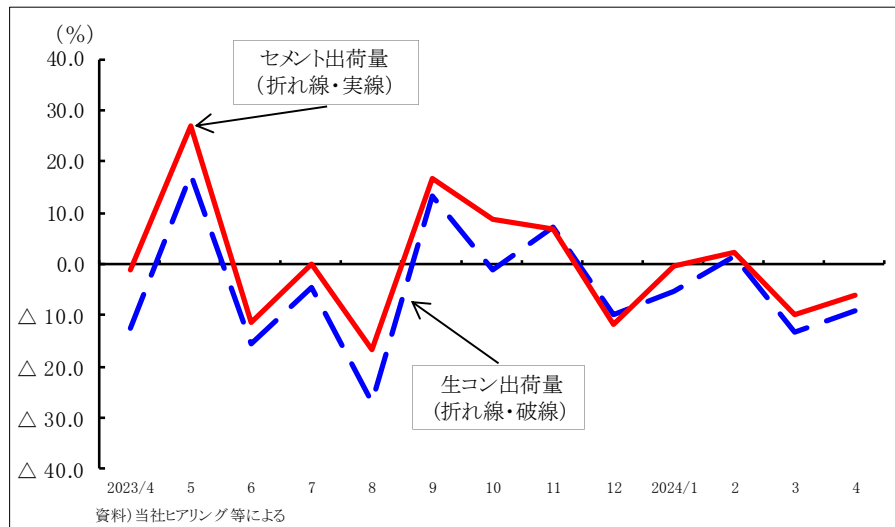


4月の公共工事請負金額は、前年同月比 19.5%減の 142 億 2,700 万円となりました(3ヵ月連続減)。
発注者別で見ると、「独立行政法人等(97.4%減)」、「市町村(同 41.9%減)」、「国(同 32.1%減)」は前年同月を下回りました。一方、「沖縄県(同 37.7%増)」、「その他の公共的団体(152.4%増)」は前年同月を上回りました。

② 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/4	△ 12.6	△ 1.2
5	17.3	26.9
6	△ 15.7	△ 11.3
7	△ 4.7	0.0
8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2



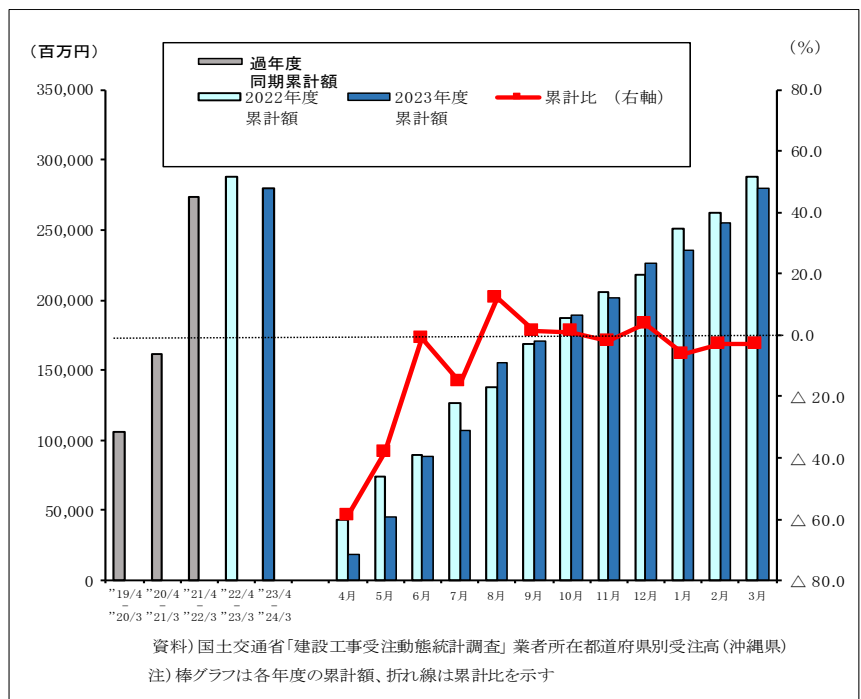
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は 9.2%減と2か月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、民間工事向けは、中南部地区、石垣地区、北部地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 12.4%下回りました。公共工事向けは、中南部地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 2.6%下回りました。セメントの出荷量は、6.2%減と2か月連続で前年同月を下回りました。

③ 【参考】民間等元請受注（年度累計）・・・前年同期を下回る。

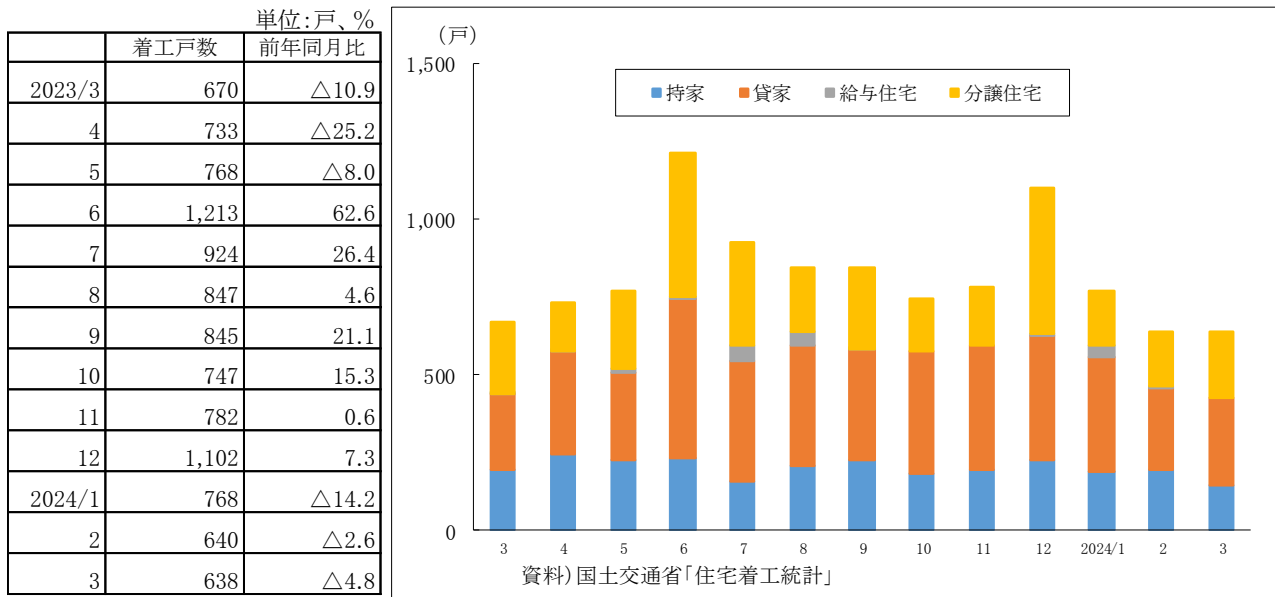
単位:百万円、%

	累計額		
''19/4			
-''20/3	105,506		
''20/4			
-''21/3	161,064		
''21/4			
-''22/3	273,953		
''22/4			
-''23/3	288,537		
''23/4			
-''24/3	279,940		
	2022年度 累計額	2023年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	43,646	18,069	△58.6
5月	73,695	45,654	△38.1
6月	89,558	88,815	△0.8
7月	126,129	106,797	△15.3
8月	137,971	155,056	12.4
9月	168,658	170,863	1.3
10月	186,983	189,095	1.1
11月	205,895	202,154	△1.8
12月	218,471	226,690	3.8
1月	251,544	235,764	△6.3
2月	262,699	254,964	△2.9
3月	288,537	279,940	△3.0



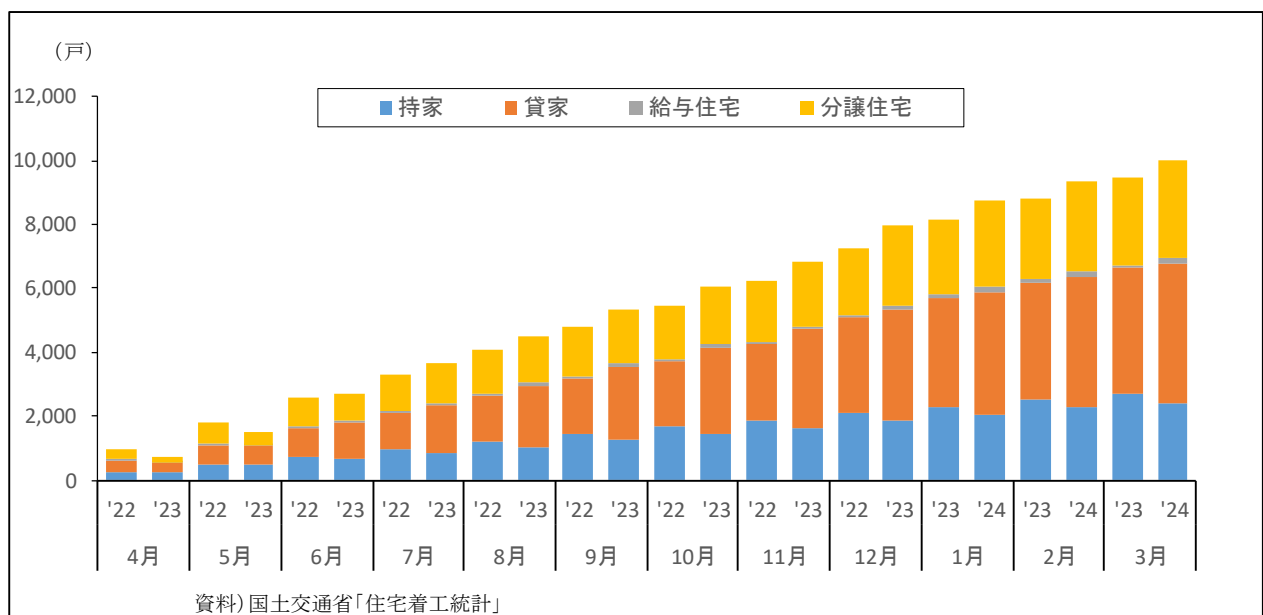
2023年度累計値では、3.0%減となっています。

④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。



3月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 4.8%減の 638 戸となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同 26.3%減)」、「分譲住宅(同 7.0%減)」、「給与住宅(同 100.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「貸家(同 15.1%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資 (年度累計)・・・着工戸数は前年同期を上回る。

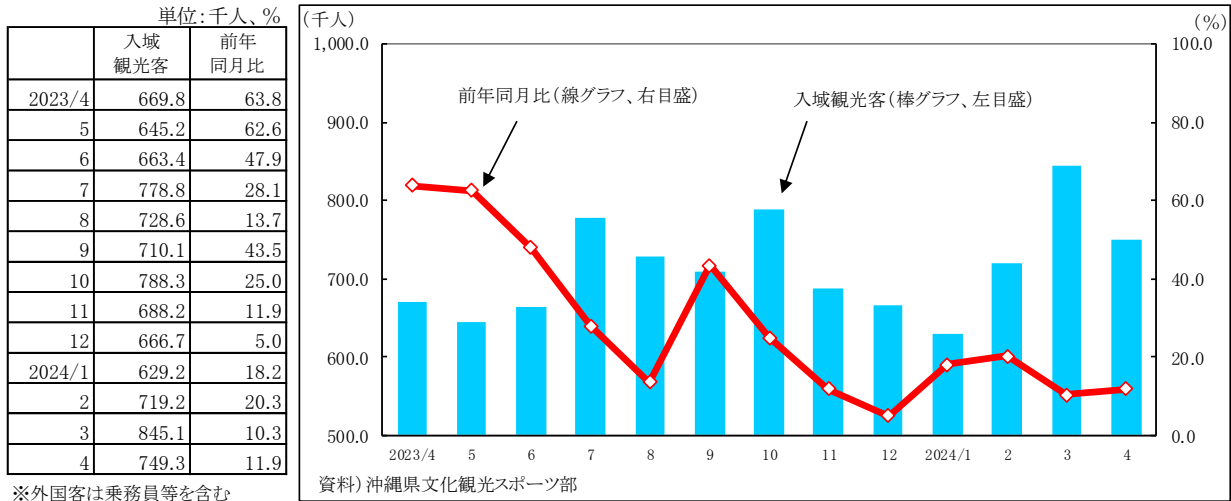


2023 年度累計値では、5.6%増となっています。



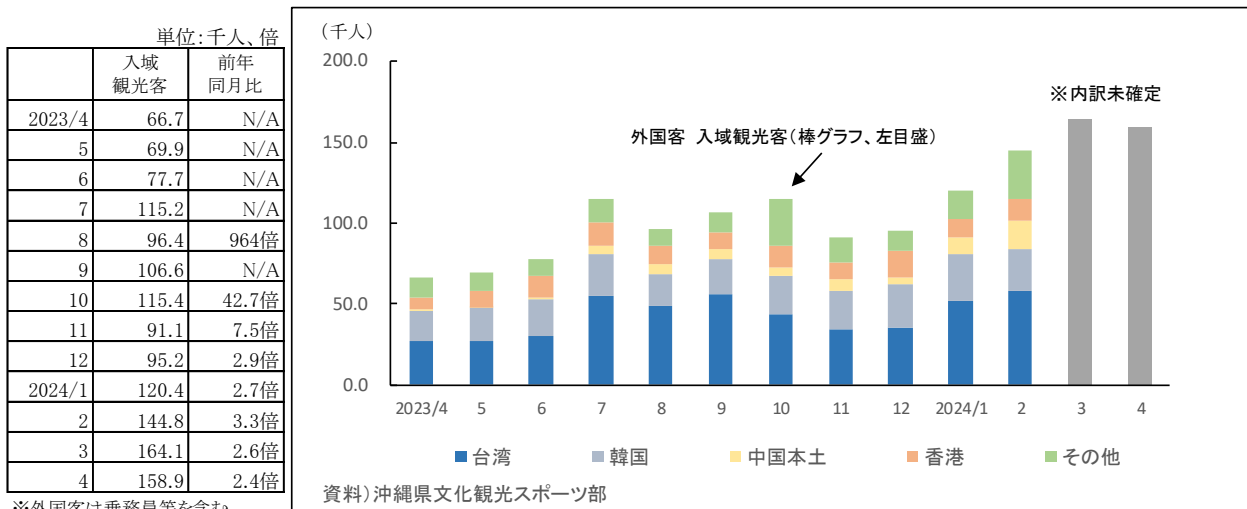
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。

4月の入域観光客数は、外国人観光客の増加などにより79,500人多い749,300人(前年同月比11.9%増)となり、29ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客は全国旅行支援の反動などにより12,700人少ない590,400人(前年同月比2.1%減)となりました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、102,100人減少(12.0%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、10,700人増加(1.8%増)となっています。

外国客入域観光客数は、158,900人となりました(空路107,500人、海路51,400人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

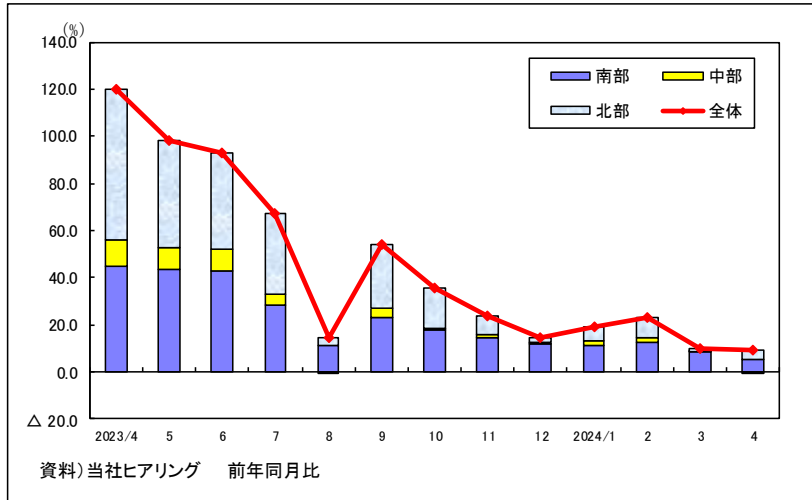
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/4	119.7	132.0	137.2	110.0
5	98.3	123.8	117.6	80.0
6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	10.2	25.8	0.1	2.8
4	9.3	15.1	△ 0.4	7.1

※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



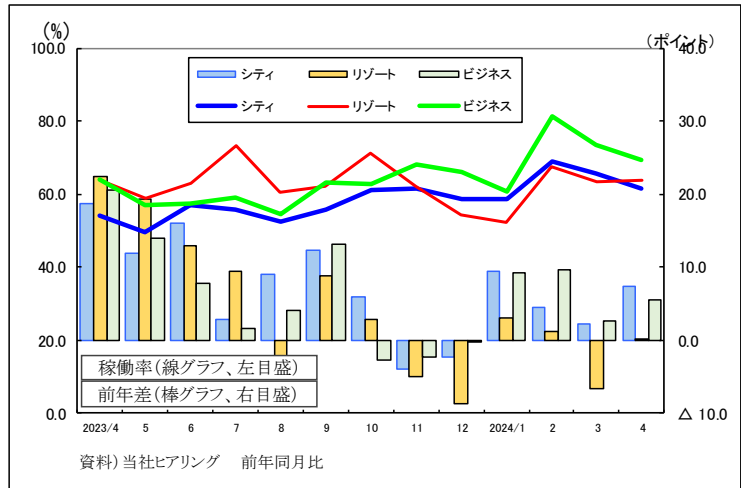
4月の**観光施設入場者数**は、外国人観光客の増加などにより全体では9.3%増となり25ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は15.1%増、北部は7.1%増、中部は0.4%減となりました。

(参考)2019年同月比では、全体で36.3%の減少となりました。内訳では南部の観光施設は41.7%の減少、北部は28.2%の減少、中部は52.0%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/4	54.3	63.7	64.1	18.8	22.5	20.6
5	49.4	58.8	57.2	12.0	19.3	13.9
6	57.0	62.9	57.6	16.0	13.0	7.7
7	55.9	73.4	59.1	2.9	9.5	1.6
8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	63.9	69.6	7.4	0.2	5.5



注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

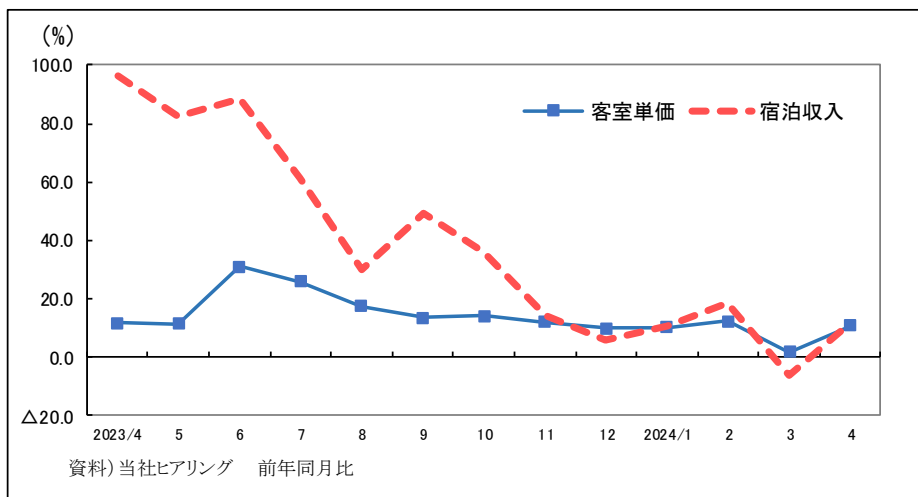
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 7.4 ポイント増加、リゾートホテルは 0.2 ポイント増加、ビジネスホテルは 5.5 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 18.5 ポイントの減少、リゾートホテルは 17.5 ポイントの減少、ビジネスホテルは 3.8 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/4	11.5	96.4
5	11.3	82.6
6	30.9	88.4
7	25.7	61.4
8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△ 6.4
4	10.8	12.1



※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

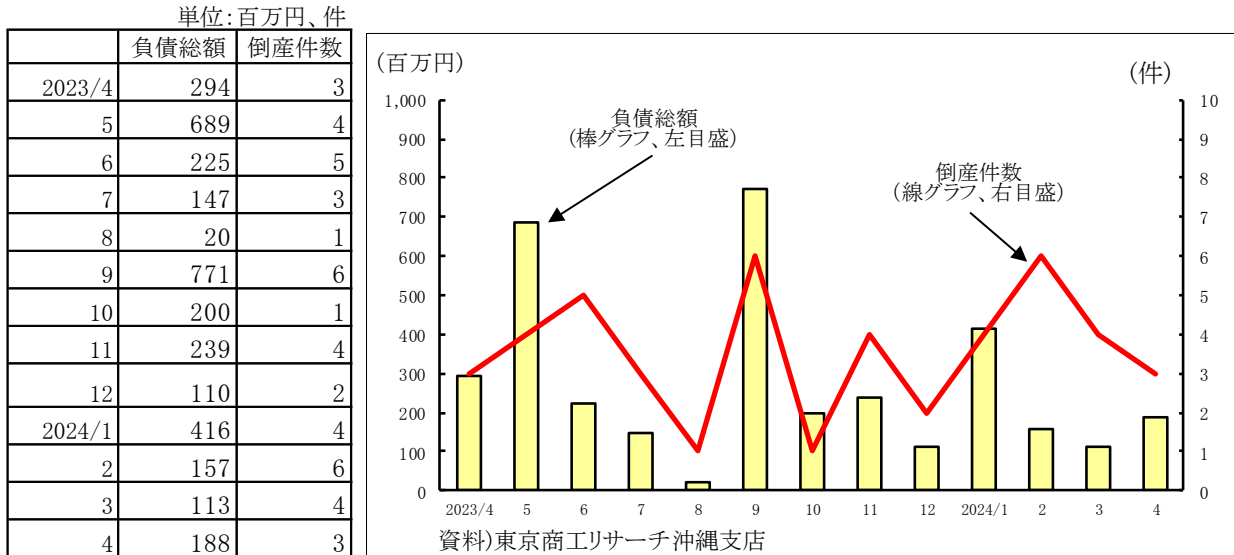
ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 10.8%増と 15 ヶ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は 12.1%増と 2 ヶ月振りに前年同月を上回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 14.2%の増加、客室収入は 21.2%の減少となっています。



■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月と同水準、負債総額は下回る。



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

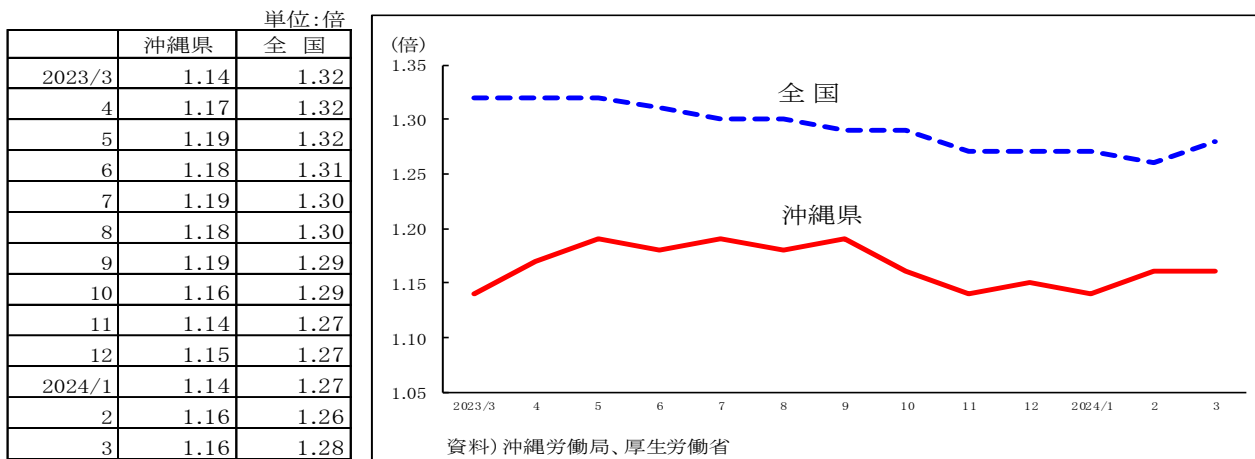
4月の**企業倒産件数**は3件(うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産は1件)となり、前年同月と同水準となりました。

負債総額は1億 8,800 万円となり、前年同月より 36.1% 下回りました。



■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄は前月と同水準、全国は上昇。



注) 季節調整済

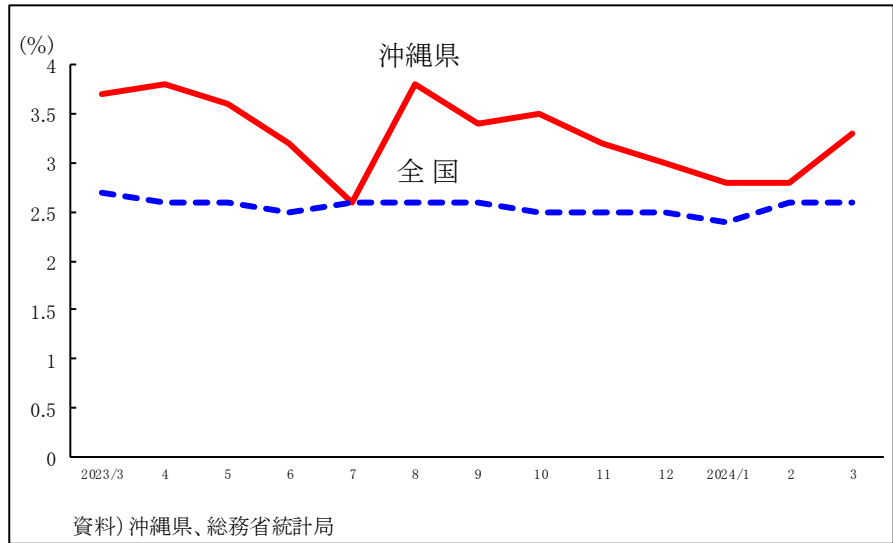
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

3月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 0.4%減の 33,171 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 0.5%減の 28,550 人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は 1.16 倍と、前月と同水準となりました。

②【参考】完全失業率・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/3	3.7	2.7
4	3.8	2.6
5	3.6	2.6
6	3.2	2.5
7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値) は、3.3%となり前月より上昇しました。